

漢文 王維『送元二使安西』定期テスト対策問題 | 形式・押韻・現代語訳の頻出設問と解答

組 番 氏名

/100点

本文

送元二使安西（元二の安西に使ひするを送る） 王維

〔白文〕

渭城朝雨①浥②輕塵①
客舍青青②柳色新
勸③君③更③尽③一③杯③酒
西出③陽關②④無③故②人①

〔書き下し文〕

渭城の朝雨①輕塵を浥し

客舍青青②柳色新たなり

君に勸む③更に尽くせ一杯の酒

西のかた陽關を出づれば④故人無からん

※読みの確認：送元二使安西＝元二（げんじ）の安西（あんせい）に使（つか）ひするを送る／渭城（いじょう）／朝雨（ちょうう）／浥し（うるおし）／輕塵（けいじん）／客舎（かくしゃ）／青青（せいせい）／柳色（りゅうしょく）／陽関（ようかん）／故人（こじん）。「使ひする」は「使者として出かける」という意味です。

設問

次の各問いに答えなさい。傍線部①～④は本文中の位置を示しています。

- この詩の形式を、漢字四字で答えなさい。
- この詩の形式について、次の問いに答えなさい。
 - 一句が何字で構成されているか、漢数字で答えなさい。
 - 全部で何句から成るか、漢数字で答えなさい。
- この詩で押韻している漢字を、本文中からすべて抜き出さなさい。
- 近体詩で、七言絶句が押韻する位置の原則を、簡潔に説明しなさい。
- 詩題「送元二使安西」について、次の問いに答えなさい。
 - 「元二」とはどのような人か。最も適切なものを次から一つ選びなさい。（ア 元という名の二歳の子ども イ 元家の兄弟のうち二番目の人 ウ 元の国から来た使者 エ 王維の二番目の息子）
 - 「使ひする」とはどういう意味か、簡潔に答えなさい。
- 「安西」の説明として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 都・長安の西側の繁華街 イ 唐が西域を治めるために置いた安西都護府 ウ 江南地方の港町 エ 西の都と呼ばれた洛陽
- 第一句「渭城朝雨浥輕塵」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。
 - この句を現代語訳しなさい。
- 傍線部①「浥」の読みを、送り仮名を含めて現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
- 「渭城」の説明として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。
 - ア 長安の東にある港町で、船出を見送る場所 イ 長安の北西、渭水のほとりの町で、西へ旅立つ人をここまで見送る習慣があった ウ 陽関のさらに西にある国境の砦 エ 元二の故郷の町
- 第二句「客舎青青柳色新」について、次の問いに答えなさい。
 - この句を書き下し文に直しなさい。

- この句を現代語訳しなさい。

11. 「客舎」の意味を簡潔に答えなさい。

12. 傍線部②「柳色新」とあるが、中国の詩で「柳」が送別の場面によく詠まれるのはなぜか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。

- ア 柳は長寿のしるしで、旅の無事を祈ったから
- イ 旅立つ人に柳の枝を折って贈る習慣があり、柳が別れの象徴だったから
- ウ 柳の綿毛が豊作を知らせると信じられたから
- エ 柳の下で恋人と会う風習があったから

13. 第三句「勸君更尽一杯酒」について、次の問いに答えなさい。

- この句を書き下し文に直しなさい。
- この句を現代語訳しなさい。

14. 傍線部③「更尽」について、次の問いに答えなさい。

- 「更尽」の読みを、送り仮名を含めて現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
- ここでの「更」の意味として最も適切なものを次から一つ選びなさい。(ア 夜がふけてから イ そのうえさらに、もう一杯 ウ あらためて最初から エ 交代で順番に)

15. 作者が「更に尽くせ一杯の酒」と酒を勧めるのはなぜか。第四句の内容をふまえて説明しなさい。

16. 第四句「西出陽関無故人」について、次の問いに答えなさい。

- この句を書き下し文に直しなさい。
- この句を現代語訳しなさい。

17. 傍線部④「無故人」の「故人」の意味として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 亡くなった人 イ 昔なじみの親しい友人 ウ 故郷に残してきた家族 エ 昔の時代の人

18. 「無故人」の「無」について、次の問いに答えなさい。

- 「無」のように、必ず下の語から返って読む字を何というか、漢字で答えなさい。
- 「無+名詞」の形で「無故人」はどのような意味を表すか、簡潔に説明しなさい。

19. この詩には、起承転結の構成上「転句」にあたる句がある。それは第何句か、漢数字で答えなさい。

20. この詩全体の主題（作者が表現しようとしたこと）として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 戦地へ向かう兵士の勇ましさをたたえる気持ち
- イ 遠い任地へ旅立つ友人との別れを惜しむ気持ち

- ウ ふるさとの春の美しさをなつかしむ気持ち
- エ 酒宴のにぎやかさを楽しむ気持ち

21. この詩はのちに送別の歌として広く歌われ、句を繰り返して歌う歌い方が生まれた。その呼び名として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 陽関三疊 イ 渭城八景 ウ 折楊柳 エ 長亭送別

22. 作者の王維について、次の問いに答えなさい。

- 王維が活躍したのは、唐のどの時期か。最も適切なものを次から選びなさい。(ア 初唐 イ 盛唐 ウ 中唐 エ 晩唐)
- 王維は、ある詩人と作風が近く「王孟」と並び称された。その詩人とは誰か、答えなさい。
- 王維は仏教を深く信仰したことから「詩○」と呼ばれた。○に入る漢字一字を答えなさい。

23. 王維の詩風の説明として最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- ア 戦場の悲惨さをえがく社会派の詩人で、「詩史」と呼ばれた イ 自然や山水の風景を絵画のようにえがき、「詩の中に画有り」と評された ウ 酒と月を愛する豪放な詩風で、「詩仙」と呼ばれた エ 宮廷の恋愛をはなやかにうたう詩風で知られた